

社協だより



ふれあい生野

発行 社会福祉法人大阪市生野区社会福祉協議会(区社協)〒544-0033 大阪市生野区勝山北3丁目13番20号
TEL:06(6712)3101(代) FAX:06(6712)3001 ホームページ <http://ikunoku-shakyo.jp/>
編集 広報編集委員会 編集委員長・岩井徳次 (発行責任)生野区社会福祉協議会 年3回発行



入場無料

生野区

認知症・在宅医療
シンポジウム

～みんなで取り組み・支え合う～

認知症になっても、体が不自由になっても、住み慣れた地域で安心して
自分らしい生活続けるために、みんなで支え合うまちづくりを一緒に
考えてみませんか?

定員
300人

粗品贈呈

開催日時

令和5年3月11日(土)
14:00～16:30(開場13:30)

場所

リゲッタIKUNOホール
(生野区民センター内)

※車椅子席、手話通訳の必要な方の席もご用意しております。

第1部

シンポジウム「コロナ禍での生野区の取り組み報告」

生野区医師会・生野区歯科医師会・生野区薬剤師会・
生野区居宅介護支援事業者連絡会
生野区訪問介護事業者連絡会・生野区訪問看護事業所連絡会

第2部

講演会「マスク社会の今だからこそ! お口のケア」

【講師】大阪府歯科衛生士会 会長 山口 千里氏

申込・問合せ

生野区地域包括支援センター TEL:06(6712)3103 FAX:06(6712)3122

大阪市認知症初期集中支援事業

おかちやまオレンジチーム

相談無料
秘密厳守

秋冬野菜育てています



結びファームで野菜を育てることは
認知症の方の生きがいや
居場所や役割づくりになります。



おかちやま
オレンジチームとは
もの忘れでお困りの方、
その家族の方の支援をさ
せていただきます。「もの
忘れ」は早めの気づきが
大切です。一人で悩まず
私たちオレンジチームに
相談して下さい。

ご相談は
来所もしくは
訪問、お電話で



開設時間 月～土曜日 9:00～17:00 ※祝日・年末年始を除く。

直通電話 TEL:06(6712)3113 FAX FAX:06(6712)3122

いくのオレンジマフ
(認知症マフ)

きもち つながる あったかい

生野区地域包括支援センターでは、ボランティアさん
と協力して認知症の方に使っていただくマフを製
作しています。認知症の方がほっこりして安心感を
得られるようにと工夫しています。

認知症マフは、
生野区地域包括支援
センターに展示しています。
ご希望の方には無料で
差しあげます
(数に限りあり)



問合せ 生野区地域包括支援センター

TEL:06(6712)3101 FAX:06(6712)3122

生野区民生委員児童委員協議会 会長にききました

民生委員のみなさんは、地域住民が安全に安心して暮らせるよう身近な相談窓口として日々尽力されておられます。
そんな、民生委員さんを束ねる区の協議会会長に内山晶廣さんが新たに就任されましたので、民生委員の活動の現状やこれからについてお聞きしました。

内山会長によりますとこの3年に及ぶコロナ禍の中で、従来おこなってきた住民のみなさんと直接お会いしての見守り等の活動が難しい状況にあり、また、小学校の統廃合により地域の子ども達の動向もつかみにくくなりました。そんな状況の中でも、役所や包括、社協の見守り相談室や地域の福祉コーディネーターと地域で開催される会議の場等で連携しながら、住民の課題解決に向けて取り組みをすすめており、同様に高齢者の見守り訪問等も適切な対策をとり関係機関と連携を図りながらおこなってきました。
今後は、生野区全体で町会や関係機関と連携を深めながら日々の見守り活動を進めていきたいとのことで、さらに内山会長の究極の願いとして、生活困窮者がいなくなり、民生委員が活躍しなくてもいい世の中になってほしいと語られました。



くらしの相談窓口 いくの

生活の困りごとや経済的なこと等について、気軽にご相談ください。
悩んでいるあなたに寄り添い、一緒に考え、困りごとを整理しながら、解決していくためのプランを作成し、安定した生活へのサポートを相談支援員がお手伝いします。

ひとりで
かかえこまずに まずは
ご相談ください。

例えば こんなことで悩んでいませんか？

- *仕事… 離職して次の仕事が見つからない。仕事が長続きしない。
- *お金… 生活費に困っている。借金の返済に悩んでいる。収入が安定しない。
- *家庭… 子どもがひきこもりや不登校で将来が不安。家族関係がうまくいっていない。



無 料 秘密厳守

- 開設時間 平日9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始は休み)
- ところ 区役所3階31番 くらしの相談窓口いくの
*この事業は大阪市生野区社会福祉協議会が受託して実施しています。
- 利用方法 電話での予約をお願いします(予約優先)
*直接窓口に来られての相談も可能ですが、お待ちいただく場合があります。
- 問 合 せ くらしの相談窓口いくの TEL:06(6717)6565

生野区社会福祉施設連絡会

加盟施設紹介 ③ 特別養護老人ホーム 菫

特別養護老人ホーム菫の所属する社会福祉法人三秀會は平成11年に認可された法人で、翌年3月に巽南地域に特別養護老人ホーム(90床、短期含む)を開設し、平成14年にはケアプランセンター、ヘルプセンター、デイサービスを併設で展開、以降は阪南市と生野南地域に地域密着型の小規模多機能、デイサービスを開設、平成29年には大阪市より新巽地域の総合相談窓口を受託しました。



特別養護老人ホーム菫ではこれからも増えていく介護が必要となった方々の一助になればとの思いで令和元年に認可を得て114床に増床をしました。
今後も「菫は地域の宝になる」という法人のビジョンを忘れることなく邁進してまいります。

第7回 いくの防災フェスタ

これまで生野区赤十字奉仕団、大阪東南ロータリークラブ、生野区役所、生野区社会福祉施設連絡会が協力し、「施設と地域の顔の見える関係を築いていきたい」という思いで開催してきました「いくの防災フェスタ」が3年ぶりに開催されました。生野未来学園の吹奏楽部の演奏をオープニングに「コロナ禍でも地震は起きる」をテーマに講演を行いました。また、会場では災害時のトイレの使用方法、スリッパ作りや車椅子、防災無線、AED、防災用伝言ダイヤルの体験など、もりだくさんの内容で、参加したみなさんから「日頃体験できないことができたり、地震について分かりやすく聞ける良い機会となった」と多くの声がありました。



生活支援体制整備事業

はじめての健康ダンス教室を開催しました!



楽しく健康習慣を身に付けることを目指して、「日本ストリートダンススタジオ協会」と開催したシニアの方向けのダンス講座です。ポップな音楽に合わせて、「上手に踊ることではなく、楽しく踊ることを大切に」しながら、先生が優しく声かけして下さり、頭も体を使いながら、楽しく元気に取り組みました。区民センターにて、全8回のダンス講座を通して、体力維持・認知症予防を多くの方に実感していただきました。さらに希望の方には、ダンスリーダー養成講座(全2回)にも参加していただき、地域でダンスを通したつながりや健康の輪が広がっていくように目指しています!





巽 南

生野区内19地域の活動を順番に紹介します。

北 鶴 橋

コロナ禍でもできるよ「歩け歩け事業」

誰でも気軽に参加でき、活動しながら歩くのでみんな健康になれる一石二鳥の活動が「歩け歩け事業」です。

①『どきどきウォーク』6月26日
巽神社の宮司さんのお話から始まり、案内人から史跡や建物の説明、ここだけのとびっきり

のお話を聞いて「そーそーそーだったよね〜」「あった、あった」「へ〜」と改めて感心し、全員でゴールの会館まで歩いて戻って来ました。お土産はボランティアさんが作ってくれたお雑魚の佃煮です。知ることでドキドキできて歩いて元気になりました。

②『ぴんぽんウォーク』 8月25日〜30日

「手作り脳トレ」と「わくわく花火大会」のチラシを配布しながら独居高齢者のお宅を声掛けしてまわりました。ピンポン!と鳴らすと元気な姿を見せて頂き安心しました。

9月に『ぴかぴかうオーク』、12月は『きょうきょうウォーク』を実施しました。

〈巽南社協広報編集委員〉



北鶴橋世代間交流事業

北鶴橋地域では、10月23日に北鶴橋世代間交流事業を北鶴橋小学校にて開催しました。

今回は、ジュースやフランクフルト販売といった、従来の世代間交流事業からおなじみのコーナーに加え、キッチンカーに来て頂いた他、芸人さんの落語やモノマネ、歌謡ショーなど、新たな催しも試みました。

3年ぶりの世代間交流事業、問題無く開催出来るのか、果たしてどれだけの人が来てくれるのか、と不安もありましたが、蓋を開けてみれば、好天にも恵まれ、地元の方々を中心に大勢のお客さんが小学校へ足を運んで下さりました。お越し頂いた方々と、行事に従事頂いた



皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の流行はまだまだ収まる気配を見せませんが、今後もそれへの対策を怠りなく、様々な行事を企画、開催していきたいと思います。

〈北鶴橋地域社協編集委員〉



赤い羽根共同募金にご協力 いただき、ありがとうございました。

共同募金は、住民のみなさまに身近な、地域福祉事業や社会福祉施設の整備、社会福祉団体やボランティア団体の活動支援などさまざまな事業を支える資金となっています。

共同募金は誰もが参加できるボランティア活動です。コロナ禍の中、生野区内の地域や社会福祉施設・社会福祉団体、関係機関のみなさまのご協力によりたくさんのご寄付がありました。ありがとうございました。共同募金は1年を通じて承っておりますので、詳しくは生野区社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。

いくのまつりで募金活動をしました!!

生野区社会福祉協議会では、11月13日いくのまつりにて募金活動を実施しました。雨の中でしたが、たくさんの方が訪れ、ブース内ではトートバッグ作りなどを行い、子どもだけでなく大人の方も参加しペイントしたり、絵を書いたりみなさんすごく楽しそうでした。



善意銀行

善意銀行は、区民の皆様や企業・団体の預託(寄付)をお受けして、地域福祉推進のための活動などに活かすことを目的とする事業です。「金銭」や「物品」の預託(寄付)など、皆さまの温かい善意の預託をお受けしています。

なお、善意銀行への預託(寄付)金は税法上の控除の対象になります。令和4年10月〜12月に預託いただいた方は次のとおりです。(順不同)(敬称略)

＜金 銭 預 託＞1件 ・大阪東部ヤクルト販売株式会社

＜物 品 の 預 託＞8件

・生野区地域振興会 ・森下 律子 ・森下 雅三 ・田窪 弘政
・社)国連PRAIDE日本 ・匿名(3件)

丹波産新米の預託をいただきました

今年も区内にお住まいの方から「おいしいお米を食べてお元気になってください。」と、善意銀行に新米をご預託いただきました。農家の方が直接届けてくださったとれたての新米です。早速、地域(食事サービス・ふれあい喫茶)や子どもを対象に支援する団体へ払出しを行いました。地域や子ども食堂の方から、「毎年、おいしいお米をいただきありがとうございます!!」との言葉をいただきました。

右の写真は、～まちの拠り所～Yosugaさんが作ったお弁当です!!



問 合 せ 地域支援担当 TEL:06(6712)3101

